

平成三年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

(1) 第二十四回中央教化研究会議

(イ) 期日 九月上旬 一泊二日

(ロ) 会場 池上本門寺・朗峰会館

(ハ) 管区教研運営委員参加

(ニ) 各教化分野別部会制で運営。教務部・現宗研ス

タッフにて内容を協議し、現宗研顧問・嘱託・研

究員を含む運営会議を開き、企画・運営などの要
綱を決定する。部会別資料を作成する。

(2) 教区教化研究会議の開催運営

(イ) 十教区にて開催運営

(ロ) 中央教研との関連を踏え、各教区・管区で推進

し得るテーマを企画し、日常教化上における問題

点を検討しつつ、総弘通運動の推進と施策を図る。

(ハ) 管区運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、

企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

(イ) 日蓮教学の現代化。中央教研の部会を中心には、継

続して討議研究を進めるとともに、教研会議にて
提示される教学の問題についても、研究していく。

(ロ) 教化学研究。教化学研究集会を年二回開催し、

教化の在り方、問題点を発表し、現代教化の方策
をまとめる。

(ハ) 日蓮主義研究。法華經・日蓮聖人研究セミナー を開催し、現代の諸問題と教学・教化の研究を繼 続して進めていく。

(イ) 教団論研究。教団研究懇談会を開催し、信行

論・寺院論・僧侶論・教化論・教育論など、日蓮
宗の組織機構・教師の資質・布教教化にわたる多
面的問題に対する現状分析・点検・問題提示・教

団のあるべき方向を研究摸索していく。

(ロ) 研究例会。現代教化に関する諸問題について、

継続的研究を行う。

(イ) 新宗教研究。現代宗教研究セミナーを開催する。

プロジェクトチームでは、前年度に引き続き、新

宗教教団をピックアップし、各教団ごとに沿革・

教義・組織・布教体系・活動・本宗との相違など

をまとめ、調査研究を続ける。

(ト) お題目総弘通運動研究。プロジェクトチームでは、本宗の戦後の宗門運動と他教団の宗門運動についての調査研究の総括をし、本宗のこれから宗門運動はどうあるべきか、そのあり方について提言をしていく作業を行う。

(チ) 中央教研部会別研究。中央教研の部会別研究プロジェクトを発足し、年間を通して継続して研究を実施していく。

(リ) 仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会への参加

(ヌ) ユダヤ教・イスラム教など、中近東地域の宗教事情を調査研究する。

3、調査部門

(イ) 寺院調査。プロジェクトチームでは、引き続き

都市部・人口過密地域における宗教事情と宗教活動・都市部寺院の抱えている諸問題などについて、調査研究をしていく。

4、資料部門

(イ) 日蓮宗教化センター設置を推進し、各地域教化センターとの連絡を密にし、教化研究・布教資料などの交換と収集につとめる。

(ロ) 必要な図書を購入し、コンピューターによる蔵書の管理を行う。

(ハ) 各種教化資料を収集し、保管する。

(ニ) 日蓮正宗・創価学会をはじめ法華系教団に関する資料を収集し、保管する。

(ホ) 「現代宗教研究」第二十六号の発行。

(ヘ) 平成二年度、日蓮宗年表の発行。

(ト) 教化資料シリーズの発行。

(チ) 総合企画部の委嘱により、「人権シリーズ」を編集作成する。

5、会議

顧問会議・嘱託会議・研究員会議の開催。